

区分	フロー区分	入出力区分	IDEA製品コード	IDEA製品名	量	単位	情報源	計算方法	備考*
排出/大気	基本フロー	出力	002104502	排出, CH4(生物由来), 大気, 不特定	3.97022332506203	kg	国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター 温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)編(2017):“表5-11 豚、めん羊、山羊、馬、水牛の消化管内発酵に関するCH4排出係数”、日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年, 国立研究開発法人 国立環境研究所, 茨城県, Page5-8, 国立研究開発法人 国立環境研究所ホームページ, 入手先 < <a href="https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf">https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf</a> >, (参照 2021-07-21)	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年」(国立研究開発法人国立環境研究所, 2017)などをもとに、CH4(消化管発酵由来)出力を算出した。ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg)は、1年に1度の毛刈りで3.1kgを生産し、それをと畜まで7回実施すると仮定し算出した。算出式を以下に示す。 CH4(消化管発酵由来)出力(3.97022332506203kg-CH4/kg) = 消化管内発酵由来CH4排出量(8kg-CH4/(年・頭)) × と畜時の年齢(7歳) ÷ ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg) ÷ 洗毛歩留(0.65)	情報源での名前: CH4(消化管内発酵由来) / 適合レベル: A / IDEA品質評価={1, 2, 1, 1, 1, 2}
排出/大気	基本フロー	出力	002104502	排出, CH4(生物由来), 大気, 不特定	0.138957816377171	kg	国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター 温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)編(2017):“表5-28 水牛、めん羊、山羊、馬のCH4排出係数”、日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年 国立研究開発法人 国立環境研究所, 茨城県, Page5-20, 国立研究開発法人 国立環境研究所ホームページ, 入手先 < <a href="https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf">https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf</a> >, (参照 2021-07-21)	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年」(国立研究開発法人国立環境研究所, 2017)などをもとに、CH4(家畜排せつ物の管理由来)出力を算出した。ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg)は、1年に1度の毛刈りで3.1kgを生産し、それをと畜まで7回実施すると仮定し算出した。算出式を以下に示す。 CH4(家畜排せつ物の管理由来)出力(0.138957816377171kg-CH4/kg) = 家畜排せつ物管理に伴うCH4排出係数(0.28kg-CH4/(年・頭)) × と畜時の年齢(7歳) ÷ ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg) ÷ 洗毛歩留(0.65)	情報源での名前: CH4(家畜排せつ物の管理由来) / 適合レベル: A / IDEA品質評価={1, 2, 1, 1, 1, 2}
排出/大気	基本フロー	出力	002114	排出, N2O, 大気, 不特定	0.0470843672456576	kg	国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター 温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)編(2017):“表5-29 水牛、めん羊、山羊、馬、うさぎ、ミンクのN2O排出係数”、表5-31 水牛、めん羊、山羊、馬、うさぎ、ミンクの体重および排せつ物中窒素量(Nex)”, 日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年, 国立研究開発法人 国立環境研究所, 茨城県, Page5-20, Page5-21, 国立研究開発法人 国立環境研究所ホームページ, 入手先 < <a href="https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf">https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf</a> >, (参照 2021-07-21)	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年」(国立研究開発法人国立環境研究所, 2017)などをもとに、N2O(家畜排せつ物の管理(放牧)由来)出力を算出した。ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg)は、1年に1度の毛刈りで3.1kgを生産し、それをと畜まで7回実施すると仮定し算出した。放牧期間の比率は、放牧5.5月/年、舎飼6.5月/年と仮定し算出した。算出式を以下に示す。 N2O(家畜排せつ物の管理(放牧)由来)出力(0.0470843672456576kg-N2O/kg) = 放牧によるN2O排出係数(0.01kg-N2O-N/kg-N) × 家畜排せつ物中窒素量(20.7kg-N/(年・頭)) × 放牧期間の比率(5.5/12) × と畜時の年齢(7歳) ÷ ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg) ÷ 洗毛歩留(0.65)	情報源での名前: N2O(家畜排せつ物の管理(放牧)由来) / 適合レベル: A / IDEA品質評価={1, 2, 1, 1, 1, 2}
排出/大気	基本フロー	出力	002114	排出, N2O, 大気, 不特定	0.133548387096774	kg	国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター 温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)編(2017): 表5-17 牛、豚、採卵鶏、ブロイラーの排せつ物管理に伴うN2O排出係数[g-N2O-N/g-N]”, “表5-31 水牛、めん羊、山羊、馬、うさぎ、ミンクの体重および排せつ物中窒素量(Nex)”, 日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年, 国立研究開発法人 国立環境研究所, 茨城県, Page5-13, Page5-21, 国立研究開発法人 国立環境研究所ホームページ, 入手先 < <a href="https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf">https://www.nies.go.jp/gio/archive/nir/jqim1000000pck7y-att/NIR-JPN-2017-v3.1_J_web.pdf</a> >, (参照 2021-07-21)	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年」(国立研究開発法人国立環境研究所, 2017)などをもとに、N2O(家畜排せつ物の管理(堆積発酵)由来)出力を算出した。ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg)は、1年に1度の毛刈りで3.1kgを生産し、それをと畜まで7回実施すると仮定し算出した。舎飼期間の比率は、放牧5.5月/年、舎飼6.5月/年と仮定し算出した。舎飼期間に排出される羊のふん尿の処理方法が「日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2017年」に記載されていないので、乳用牛のふん尿処理でもっとも多かった堆積発酵によって、羊のふん尿も処理されると仮定した。算出式を以下に示す。N2O(家畜排せつ物の管理(堆積発酵)由来)出力(0.133548387096774kg-N2O/kg) = 堆積発酵によるN2O排出係数(0.024kg-N2O-N/kg-N) × 家畜排せつ物中窒素量(20.7kg-N/(年・頭)) × 舎飼期間の比率(6.5/12) × と畜時の年齢(7歳) ÷ ライフサイクル全体の羊毛生産量(21.7kg) ÷ 洗毛歩留(0.65)	情報源での名前: N2O(家畜排せつ物の管理(堆積発酵)由来) / 適合レベル: A / IDEA品質評価={1, 2, 1, 1, 1, 2}